KASHIWARA

市議会だより

令和元年８月号（№201）　発行　柏原市議会　Eメール　gikai@city.kashiwara.osaka.jp

6月議会の概要（主なもの）

令和元年第１回定例会は、６月３日から 27日までの 25日間の会期で開催し、市長から提出された議案 18件を慎重に審議しました（提出議案の一覧は８ページに掲載）。

また、６月 17日、18日に議案及び市政一般に対する個人質疑・質問を行いました（各議員の主な質疑・質問の内容は３ページから７ページに掲載）。

幼児教育・保育の無償化制度がスタートします。

令和元年 10月1日から

【無償化制度の概要】

- 幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する３歳から５歳までの全ての子どもの利用料が無償化されます。
- ０歳から２歳までの子どもについては、市町村民税非課税世帯を対象として利用料が無償化されます。
- 保育の必要性のある子どもが、認可保育所等を利用できずに認可外保育施設等を利用した場合も無償化の対象となります。（上限あり）

災害援護資金の貸付制度がかわりました。

平成31年 4月1日から適用

●大阪府内で災害救助法が適用された市町村が１団体以上ある災害により被害を受けた方に対して貸付けを行う災害援護資金について、次のとおり変更されました。

項　目	改正前	改正後	
貸付利率	3%※ →	連帯保証人有り	無利子
		連帯保証人無し	1%※
償還方法	年賦のみ →	年賦・半年賦・月賦から選択	
連帯保証人	必要 →	選択制	

※据置期間中（３年間）は無利子

低所得者の介護保険料が減額されました。

令和元年7月保険料分から適用

●令和元年 10月に予定されております消費税増税に伴い、低所得者保険料軽減措置が適用され、第１段階～第４段階の方の保険料が次のとおり軽減されました。

対　象　者			改正前	改正後
第１段階	生活保護受給世帯　等		34,599円 →	28,832円
第２段階	市町村民税非課税世帯かつ年金収入及び合計所得金額	80 万円以下		
第３段階		80 万円超～ 120 万円以下	53,820円 →	48,054円
第４段階		120 万円超	57,664円 →	55,742円

補正予算（主な事業）

【歳出】

●プレミアム付商品券事業

495,293千円

対象者への購入引換券の発送費及び事業に関する業務委託料

【財源】商品券販売収入及び国の補助金を充当（全額）

●図書館運営費

12,012千円

移動図書館「ひまわり号」老朽化に伴う新規購入費

【財源】・コミュニティ助成事業
助成金 10,000 千円
・一般財源　2,012 千円

【歳入】

●森林環境譲与税

3,000千円

市の森林整備や促進に関する施策の財源に充てるために国において新たに創設
［令和元年度から毎年交付］

「アウトドアスポーツ」を活用したまちづくりを

中村　保治

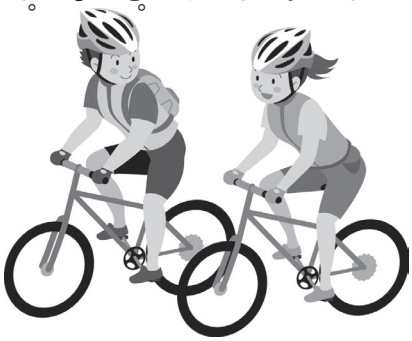
問　自然を生かしたアウトドアスポーツによるまちづくりについて問う。

答　本市は、大和川や高尾山など自然環境に恵まれている上に都市部からの交通アクセスが良いことから、その特性を生かし、アウトドアスポーツを気軽に体験することができるまちとなり得るのではないかと考えている。

問　具体的にどのような取り組みをしているのか。

答　民間事業者と協働で名所等をめぐるサイクルツアーを実施しており、今年度は大和川でのカヌー教室の実施を予定している。今後は地域資源を生かしたアウトドアスポーツを体験できる場を提供することにより、にぎわいの創造やまちの活性化につなげていきたい。

要望　様々な連携を図りながら、市の特性を生かした「まちづくり」という大きな視点に立った取り組みを期待する。



よりわかりやすい小規模商店紹介サイトの構築を

大木　留美

問　市内の小規模商店の情報発信について問う。

答　小規模商店等の情報ついては、市内事業所情報サイト「柏原まち・ひと・しごとネット」を活用してインターネットで発信している。今後は広報等での周知や商工会の協力を得ながら登録事業者の増加を図りたい。また、掲載内容の充実や改良を図ることで、閲覧者数も増やしていきたい。

要望　先進市では、市のウェブサイトのトップページから簡単に市内飲食店等の情報ページにアクセスできるように工夫されている。本市においても、例えば市サイトトップページにある「柏原マップ」を使い、「飲食」や「観光」などのアイコン（視認しやすい絵文字や図柄）を設置し情報ページにつなぐといった、閲覧者が素早く簡単にアクセスできるウェブサイトの構築を要望する。

通学における子どもの安全を確保せよ

奥山　渉

問　昨今、子どもが巻き込まれる事件事故が多発しているが、大津市の事故と川崎市の事件後の市の対応について問う。

答　大津市の園児が犠牲となった交通事故の後、通学路の危険箇所や通行時の注意点等を指導するなど各学校園に対して、安全確保の徹底を改めて指示した。また、川崎市の児童殺傷事件の報道後、教育委員会で緊急に協議を行い、各学校園や各種関係団体に注意喚起をするとともに、警察へのパトロール強化の要請、青色防犯パトロール車での職員による巡回を行った。なお、6月は毎日下校時刻に合わせて、通学路を巡回することとしている。

要望　子どもの安全を守るために、警察との連携強化や通学路の危険箇所の改善など、地域の皆様のご協力も得ながら、できる限りの対策を講じられるよう強く要望する。

いじめ問題について

山口 由華

問　いじめの定義を問う。

答　いじめ防止対策推進法で、いじめは児童・生徒が心身の苦痛を感じているものと定義している。

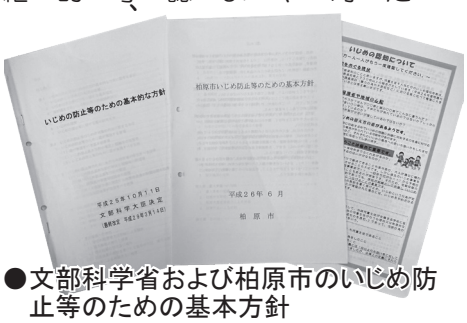
問　学校でいじめを発見した時の対応を問う。

答　まず被害を受けた子どもを守り、いじめ対応委員会において、速やかに詳細な聞き取りによる情報収集及び事実確認をし、加害側への指導等、今後の指導方針や組織的な対応の協議をして、継続的に見守りをしていく。

問　いじめ問題は何をもって解消するのか問う。

答　いじめは単に加害側からの謝罪をもって解消とせず、いじめ行為が3か月止んでおり、被害者が心身の苦痛を感じていないことと定義している。

要望　今後とも先生にはいじめの芽や兆候を見逃さず、子どもの心に寄り添い、命を守ってほしい。



●文部科学省および柏原市のいじめ防止等のための基本方針

高齢者をオレオレ詐欺から守ろう！

岸野 友美子

問　高齢者を特殊詐欺被害から守るために実施される特殊詐欺対策機器貸出事業について問う。

答　本事業は高齢者の特殊詐欺被害を未然に防ぐため、電話での通話内容を自動録音する旨を警告した上で録音する機能を持った機器50台を無償で貸し出すものであり、広報7月号に申し込み方法等を掲載し、応募者多数の場合は公開抽選を行った上で7月下旬に機器を貸し出す予定である。

要望　他市では、電話機やインターホンに貼り付け、ボタンを押すと警告アナウンスが流れる簡易な機器が無料配布されている。この機器は効果がある上に安価なので、応募者が多数となった場合の対策として検討されたい。特殊詐欺被害は柏原市においても多額の被害が発生しているので、今後もさらなる対策を講じられるよう強く要望する。

●他市配布機器

●柏原市貸出機器

特殊詐欺対策機器

地域共生社会の実現を

田中 秀昭

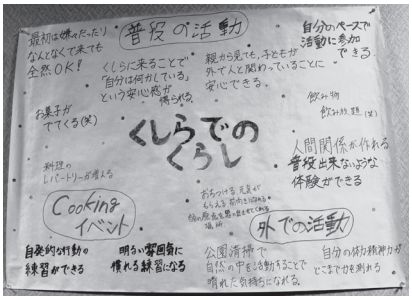
問　就労準備支援事業（くしら）について問う。

答　「くしら」は、長年ひきこもり状態にある方や就労ブランクのある方などに対しての就労に向けた準備支援の事業で、気軽に相談できる環境を提供して、一人でも多くの方々につながりができるよう努めている。

問　支援窓口に行くことが困難な方にも「くしら」に参加してもらうためには、どのような取り組みをすればよいと考えるか。

答　市のSNSによる広報や「くしら」の見学会の開催など気軽に参加できる環境づくりといった地道な活動が有効だと考える。さらには、アウトリーチ（積極的に対象者のいる場所に出向いて働きかけること）につなげられるよう正確な情報把握に努めていきたい。

要望　地域共生社会の実現に向け、包括的な支援を進めるよう要望する。



●参加者によるくしらの紹介（イベントで掲示）

堅下・法善寺駅のバリアフリー化について

大坪 教孝

問　近鉄堅下・法善寺駅のバリアフリー化について、事業主体の近鉄において国へ補助金申請された16駅のうち、堅下・法善寺駅を含む8駅が補助採択されなかったとのことだが、近鉄の駅で乗降客数3千人以上のバリアフリー化されていない駅はいくつあるのか問う。

答　近鉄によると156駅中27駅とのことである。

問　今回補助採択された8駅を除くと、バリアフリー化されていない19駅に堅下・法善寺駅が残ることになるが、なぜ補助採択されなかったのか。

答　近鉄によると明確な理由は把握できていないとのことである。

要望　住みたいまち柏原を目指しているのに、取り残されているようではダメではないか。高齢者等、多くの利用者が期待しているので、関係機関に強く働きかけて早急に整備されるよう要望する。

●早期改善を望む近鉄堅下駅

高齢者の運転免許証の自主返納について

鶴田 将良

問　最近、高齢者の交通事故が報道で大きく取り上げられているが、市における高齢者の交通事故の発生件数等を問う。

答　警察によると市内の交通事故発生件数は、平成28年が326件、平成29年が312件、平成30年が247件となっており、そのうち高齢者による交通事故の割合は各年ともに約20%となっている。また、「平成30年版大阪の交通白書」による高齢者による交通事故は、平日の午前8時から正午と午後4時から午後6時の時間帯で多発している傾向となっている。

要望　運転免許証の自主返納となると日常生活において不便になることも考えられる。今後は、市の独自施策の検討や自主返納サポート企業との連携強化など、高齢者が運転免許証を自主返納しやすい環境づくりに取り組まれることを要望する。

市民の安全を最優先にした道路整備を

峯 弘之

問　柏原東小学校の通学路である市道上市法善寺線は、歩道やガードレールがない箇所があるため、子どもたちが登下校する際には、大変危険な状況となっているが、今後の整備について問う。

答　大阪府が進めている都市計画道路大県本郷線の整備に合わせて、当該道路と接続する交差点部分の整備を令和2年度末に供用開始ができるよう優先的に取り組んでいる。その後は、今回の整備箇所から柏原東小学校までの南側区間や市立柏原病院までの北側区間の整備を検討していきたい。

要望　整備に当たっては、市民の安全を最優先に取り組んでもらいたい。また、当該道路を広域的な道路と接続させることで防災面において大きな意義があると考えるので、大阪府や隣接する八尾市と連携を強めて協議を進められるよう要望する。

●市道上市法善寺線での通学の様子

学校図書館司書のさらなる拡充を計画的に

新屋 広子

問　子どもたちの学習の基盤となる「情報活用能力の育成」の取り組みを問う。

答　今年度はパソコン教室の機器を一新し、ICT機器を活用した教育をスタートさせ、情報活用能力の向上を図りたい。

問　「言語活動の育成」についての考えを問う。

答　全教科の要であり、従前から授業において充実を図ってきた。とりわけ文章を「書く力」の育成に力を注いでいるが、並行して「読み取る力」の育成も必要と考える。

要望　「読み取る力」の育成には読書が有効であり、子どもたちにその機会を与え、学力向上や生きる力を育む学校図書館の機能は最大限発揮されるべきと考える。国が掲げる小・中学校1,5校に1名程度の学校図書館司書の配置となるよう、次年度以降、拡充に取り組まれることを強く要望する。

通学路の安全確保を！

山本 修広

問　国分小学校と国分東小学校との統合に向けた通学路について問う。

答　危険箇所を把握するなど児童の安全に配慮した整備を考えている。また、地域からの意見等も踏まえ、通学路警備員の配置や防犯カメラの設置などを検討している。

問　市内全校区の通学路における交差点改良等の安全対策について問う。

答　警察や関係機関との合同点検、地区点検等で把握した危険箇所について、優先度の高いものから順次対策工事を行っている。また、今年度は交通安全総合整備計画を策定する予定で、今後はこの計画に基づいて整備を進めていきたい。

要望　幹線道路を横断する通学路の交差点へのガードレールや車止めポールの設置など、保護者や地域の声をしっかりと反映し安全対策を講じられるよう強く要望する。

玉手橋の魅力を生かしたまちづくりを

寺田 悦久

問　玉手橋の文化財としての価値について問う。

答　玉手橋は昭和3年に架橋された日本唯一の五径間つり橋で、デザイン的にも優れていることから、平成13年に国登録有形文化財になっている。

問　玉手地域の皆さんは、地域のランドマークとして玉手橋に誇りを持っておられる。また、玉手橋は、世界文化遺産への登録が見込まれる古市古墳群を間近に一望できる玉手山公園展望台へのアクセスにもなることから、まちづくりに玉手橋の魅力を生かせないのか。

答　通行者の安全確保のための適正管理に努めつつ、貴重な文化財として、市の他の歴史遺産を含めたPRの方策等を検討していきたい。

要望　柏原市の魅力を発信する千載一遇のチャンスなので、市の組織において横断的に取り組まれることを要望する。

●玉手橋

子ども防災リーダー教育について

梅原　壽恵

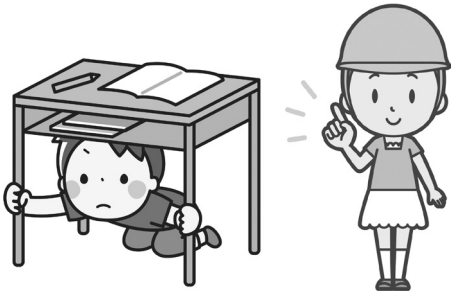
問　市で実施している子どもの防災教育について問う。

答　防災に関する知識や状況判断力、さらに自身を守る自助やともに助け合う共助の精神を育むため、平成29年度から高学年児童を対象に体験型防災授業を実施している。

問　子どもたちが防災について学ぶことは非常に大切である。先進市における防災や救急救命に関する知識や技能を身につけた子どもたちを育成する取り組み等も参考にして、子どもたちが将来の地域防災力の要として活動できるよう仮称柏原市子ども防災リーダー教育の実施を提案するが、市長の考えを問う。

答　少しでも早い年齢から防災の知識を身につける必要があると考えるので検討していきたい。

要望　子どもの防災教育の取り組みが大きく前進することを強く要望する。



政務活動費について

政務活動費は、議員が調査研究に資するための必要な経費の一部として交付されるものです。本市議会では、「柏原市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、交付請求により議員一人につき月額４万円を交付しています。柏原市議会では平成１９年から政務活動費の使途を明確化するため、収支報告書に領収書と会計帳簿の添付を義務付け、透明性の確保に努めています。

■平成30年度 収支報告書（平成30年4月分から平成31年3月分）

会派名		自由民主党至誠会	公明党	維新の会	自由民主党政新会	女性超党派りんどう	会派に属さない議員 橋本 満夫
交付額（利子含む）		1,920,004	1,440,005	1,440,006	960,003	960,003	480,001
支出内訳	調査研究費	0	6,000	0	0	0	0
	研修費	173,352	72,982	0	7,722	128,804	12,000
	調査旅費	430,955	103,952	52,500	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	19,512	0	0	105,167	0	26,340
	広報・広聴費	1,358	8,919	1,019	679	679	5,139
	人件費	0	0	0	0	0	0
	事務費	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	63,360	88,880	84,000	0	0	0
支出額		688,537	280,733	137,519	113,568	129,483	43,479
返還額		1,231,467	1,159,272	1,302,487	846,435	830,520	436,522

（単位：円）

詳しい収支報告書につきましては、柏原市議会ホームページに掲載しております。
http://www.city.kashiwara.osaka.jp/docs/2016070600048/

全会一致で可決・承認した議案

議案番号	議案名	議決結果	自由民主党・誠会				公明党			維新の会			自由民主党・政新会		女性超党派・りんどう		個人	個人
			乾至一	奥山渉	大坪教孝	寺田悦久	大木留美	新屋広子	中村保治	峯弘之	梅原壽恵	鶴田将良	田中秀昭	山下亜緯子	山口由華	岸野友美子	山本修広	橋本満夫
報告第５号	専決処分報告について（柏原市市税条例等の一部改正について）	承認	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠
報告第６号	専決処分報告について（平成30年度柏原市一般会計補正予算（第12号））	承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
報告第７号	専決処分報告について（令和元年度柏原市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第1号））	承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠
報告第８号	平成30年度柏原市一般会計予算の繰越明許費繰越計算報告について	報告		―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
報告第９号	平成30年度柏原市水道事業会計予算の繰越しについて	報告		―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
報告第10号	平成30年度柏原市下水道事業会計予算の繰越しについて	報告		―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
議案第29号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	柏原市市税条例等の一部改正について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠
議案第31号	柏原市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠
議案第32号	柏原市介護保険条例の一部改正について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠
議案第33号	柏原市消費生活センター条例の一部改正について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠
議案第34号	柏原市自転車駐車場条例の一部改正について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠
議案第35号	柏原市立サンヒルスポーツセンター条例の一部改正について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠
議案第36号	令和元年度柏原市一般会計補正予算（第２号）	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠
議案第37号	令和元年度柏原市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠
議案第38号	柏原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業所の保育料に関する条例の一部改正について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠
議案第39号	柏原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠
議案第40号	令和元年度柏原市一般会計補正予算（第３号）	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠

・議長は全ての議案に対し賛否を表明しません。・会派に属さない議員は「個人」と表記しています。
・賛成の場合は「○」、反対の場合は「×」、議決不要案件は「―」と表記しています。
・採決の際に欠席している場合は「欠」と表記しています。

常任委員会行政視察報告

５月に常任委員会が先進地の行政視察を行いました。
※行政視察報告書は、市議会のホームページに掲載しています。

http://www.city.kashiwara.osaka.jp/docs/2016053100015/

総務産業委員会（5月9日、10日）

【大分県豊後高田市】
・定住促進への取組について

【佐賀県佐賀市】
・富士小学校の跡地活用について

厚生文教委員会（5月15日、16日）

【埼玉県三郷市】
・日本一の読書のまち推進事業について
・シルバー元気塾について

【埼玉県八潮市】
・八潮こども夢大学について
・こども防災マイスターについて

議員永年表彰

全国市議会議長会第95回定期総会において、乾一議長が正副議長表彰を、鶴田将良議員が議員25年特別表彰を受章されました。

これらの表彰は、市政の振興に努められ、その功績が著しいものがあるとして表彰されたものです。

市議会傍聴のご案内

月　日	会議名	内　容
9月 2日(月)	本会議	議案説明
9月12日(木)	本会議	会派代表質疑・質問
9月13日(金)	本会議	会派代表質疑・質問
9月18日(水)	総務産業委員会	付託議案審査
9月20日(金)	厚生文教委員会	付託議案審査
9月27日(金)	本会議	委員長報告・採決

柏原市をどのようにして、安全で住みよいまちにするのかなど、各議員の熱心な審議の様子が傍聴できます。

※会議は午前10時から始まります。
※日程は変更する場合があります。
※傍聴者の定員は、本会議が20名、委員会が10名となっています。（いずれも先着順）
※９月12日、13日に予定している質疑質問の順番等については、決まり次第ホームページに掲載します。

編集：柏原市議会広報委員会　委員長：山下亜緯子　副委員長：山口由華　梅原壽恵　大木留美　田中秀昭　奥山渉